

第2期 石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画（案）に対する意見募集  
に対して寄せられた御意見について

令和4年12月16日（金）から令和5年1月16日（月）まで市ホームページ等を通じて御意見を募集したところ、6件の御意見をいただきました。

お寄せいただきました御意見に対する当市の考え方を以下のとおり取りまとめましたので公表いたします。

今回御意見をお寄せいただきました方の御協力に、厚く御礼申し上げます。

NO	項目	意見の概要	当市の考え方
1	P15 (3) 河南・桃生地区  イ. 鹿又保育所、須江保育所	<p>社員は市の内外から通勤しています。小さい子供がいる社員は送り迎えには苦勞しているようです。迎えに行く時間になると、急いで帰ることもあります。若い人に長く勤めてもらうためには、保育所のことも会社としては気になるようです。</p> <p>社員のほとんどは車通勤です。鹿又保育所と須江保育所が廃止される計画がありますが、新たな保育所は、車で通う人の利便性を考えたところがいいと思います。</p>	<p>保育施設利用のほとんどの保護者が車での送迎を行っていることから、保護者の勤務先に近い保育施設を利用する方が増えてきております。</p> <p>そのため、新しい保育施設は、保護者の送迎時の利便性やニーズを考慮した場所への設置を考えてまいります。</p>
2	P15 (3) 河南・桃生地区  イ. 鹿又保育所、須江保育所	<p>再編計画案を見ると、複数の保育所が統合されている場合、既に建設エリアが決まっているところ（石巻保育所とふたば保育所）や、民間誘致について順調に進んでいるところ（井内保育所、稲井幼稚園）や、公立保育所開設に向け進んでいるところ（大川保育所、大谷地保育所、二俣保育所）があるようです。</p> <p>河南・桃生地区については、「鹿又保育所の廃止～須江保育所を廃止～、令和8年4月1日の開設に向けて、代替施設の民間事業者への誘致を進めていきます。」とあります。</p> <p>新たな代替施設の場所の見通しはついていのでしょうか。鹿又と須江の中間地点を想定しているのでしょうか。</p> <p>JR、高速道路等の交通アクセスがよい鹿又地区への代替施設を希望します。</p>	<p>新たな代替施設の設置場所については、公募する事業者が提案する場所を選定することになりますので、現時点では未定です。今後、施設を利用する方が利用しやすい場所への設置を考えてまいります。</p>

3	P8 1 基本方針	<p>市が新たな場所に保育所を考える場合、「将来的にも安定した保育需要が見込まれる地区」とはどのような地区のことを意味していますか？</p> <p>一般的に勤め先と保育所が近いことが望ましいですが、商業施設や介護施設、中小の会社が多くあるところに保育所があると、勤めることもできるし、子どもを預けることもできるし便利です。</p>	<p>集団保育が可能で通勤経路や、人口密集地域からの移動経路等を考慮し、他の保育施設等と乳幼児の入所競合をできるだけ避けて、施設運営ができる地区を意味します。</p>
4	P8 1 基本方針	<p>私立施設に書かれた「特色ある教育・保育」については、バイリンガル教育・英会話やスポーツ教室などの早期教育ではなく、子どもの自主性を大切にしたい保育をしている事業者を選んで欲しいです。今月の「ままぱれ」読んでいたら、東北大学の川島先生や宮教大の先生が遊びのなかで愛着形成をすることや非認知能力を高めることが、将来の学力や成功につながることを話していました。早期教育などの目先の結果ではなく、本当に子どものためになる保育園を選んでください。</p>	<p>私立認可施設に関しては、公募に参加する法人を学識経験者や福祉、保育に関する外部委員等で構成する「保育所設置・運営事業者選定委員会」が、参加法人の提案を総合的に公正かつ適正に判断します。</p>
5	P12 石巻・牡鹿地区再編計画図  P15 (3) 河南・桃生地区	<p>私立保育所の誘致については、石巻市内の社会福祉法人だけではなく、宮城県内ですでに保育所を運営している保育園を誘致して、子どもたちに良い保育を提供できる環境をつくって欲しいです。NHKの番組で白梅学園大学の汐見先生や玉川大学の大豆生田先生などの著名な専門家が、「夢中になって遊ぶ」ことが非認知能力を高め、その後の学力につながると話していました。全国展開しているようなありきたりな保育園や、英語や運動などの早期教育をしているような保育園ではなく、自然豊かな園庭で良質な保育を行っている保育園に石巻に来てもらい、新しい風を吹き込んで欲しいです。</p> <p>保育園の業者を選ぶときには、仙台や東京などの保育が専門の大学の先生などを呼んで、その専門の方のみで判断して欲しいです。現在の石巻市の子育て会議の委員や地元の有識者では、石巻は狭い町なので、かならず縁故やコネなどがあり、正しい判断ができないのではないかと不安です。</p> <p>将来の石巻の子ども達が、良い保育を受けて、学力を高めて、日本・世界に羽ばたき、石巻を支えてくれることを願っています。</p>	<p>私立保育所の誘致は、市内の法人に限定せず、広く公募を行う予定です。</p> <p>また、平成12年から保育所運営は市町村や、社会福祉法人に限定されるものではなく、株式会社やNPO法人等も運営することが可能となったことから、多種多様な保育が展開されるようになっており、その中でも石巻の地域性に合致した法人を求めています。</p> <p>なお、選定委員は氏名等を公表していないほか、守秘義務や申請団体との直接または、間接的な接触等を禁じておりますので、ご指摘のような不安は存在しないと認識しております。</p>

6	P15 (3) 河南・桃生地区	<p>鹿又と須江に住む市民の方、両方に不満や軋轢が残らないように、新しい保育所は鹿又と須江の中間地点に誘致して下さい。この2つの地域には保育園が少なく、とくに須江には他に無いので、鹿又に近ければ、須江の市民が使いにくくなります。とくに須江に住む住民から見ると、勤務先である石巻市街地とは逆方向に向かわなければならないので、朝の忙しい時間帯、車の多い時間帯なので20～30分も時間をロスしてしまいます。鹿又保育所の近くにはメロン保育園があるので、その3つの園から等しく距離が離れている場所に誘致をしてください。</p>	<p>新たな代替施設については、民間事業者を公募により誘致し、その事業者が提案する場所を選定することになります。</p> <p>なお、石巻市全体での保育施設の配置のバランスを考慮する必要があるため、必ずしもご希望に添えない場合がありますことをご理解願います。</p>
---	--------------------	--	---